



\\ こんにちは //

No. **126**
.....
令和6年11月
.....

豊前市議会です



九州運輸局へ意見書を提出(7月22日) ※詳細は11ページ

CONTENTS 目次

9月定例会(8/28~9/18) 主な内容

議案の概要.....	2~4P
令和6年9月定例会 議案審議結果.....	5P
一般質問・その他.....	6~11P
トピックス・編集後記.....	12P

議会へのご意見をお寄せください

発行 / 豊前市議会
豊前市大字吉木955
TEL 82-8137 (直通)

ホームページ/
<https://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

第5回定例会

令和6年第5回定例会は、8月28日から9月18日までの22日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より、条例案件4件、補正予算2件、決算案件9件、その他案件3件、報告案件7件の合計25件が提出されました。

それぞれ所管の委員会では慎重に審査した結果、原案どおり可決・認定されました。

また、議員より、請願1件が提出され、文教厚生委員会で慎重に審査した結果、不採択となりました。

6月議会から継続審査となっていた請願1件は、採択されました。

なお、議案第39号・第40号・第42号・第43号・第44号・第45号・第52号については反対討論、請願第2号については賛成討論と反対討論がありました。

最終日には、市長より、人事案件2件が提案され、いずれも原案どおり同意されました。

また、選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙が行われ、指名推選によりそれぞれ4名の委員及び補充員が選出されました。

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

■公平委員会委員

豊前市大字永久

亀田 陽一

■教育委員会委員

豊前市大字八屋

古川 哲也

選挙関係

指名推選により選出されました。

■選挙管理委員会委員

(敬称略)

豊前市大字下河内

山田 靖

豊前市大字大村

大貫 久美子

豊前市大字中川底

西村 一憲

豊前市大字吉木

林 末廣

■選挙管理委員会委員の補充員

豊前市大字三毛門

別府 敏雄

豊前市大字永久

亀田 清美

豊前市大字畑

岡野 隆治

豊前市大字赤熊

福丸 和弘



産業建設委員会申し入れ事項

◎総合交流促進施設については、今後も営業継続ができるよう努めること。

総務委員会申し入れ事項

◎豊前市営駐車場事業については、今後も市内3か所の駐車場の利用増加に努め、特に、宇島駅第2駐車場は月極利用を促すため、積極的にPRに努めること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会

◎内丸伸一○増田泰造・爪丸雄太・渡辺美智子・村上勝二・為藤直美・郡司掛八千代

文教厚生委員会

◎梅丸晃○為藤直美・爪丸雄太・渡辺美智子・増田泰造・平田精一・岡本清靖

産業建設委員会

◎尾澤満治○梅丸晃・爪丸雄太・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・福井昌文

議会運営委員会

◎為藤直美○尾澤満治・渡辺美智子・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一

《令和6年度一般会計補正予算の概要》

【議案第40号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第4号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇電算管理費	8,508千円
◇後期高齢者医療療養給付費負担金	4,105千円
◇母子父子福祉費	9,219千円
◇一般予防費	71,180千円
◇プレミアム商品券発行事業補助金	3,000千円
◇総合交流促進施設整備事業	10,000千円
◇新設中学校整備事業	2,134千円

継 続 審 査 分

鍼灸マッサージ施術助成金増額に関する請願は、採択されました

請願第1号「鍼灸マッサージ施術助成金増額に関する請願」については、前定例会(6月議会)からの継続審査でありました。

令和6年8月23日の文教厚生委員会において、再度、慎重に審査しました。

採決の結果、賛成多数で採択されました。

【請願第2号】(紹介議員:尾澤議員)

第三日曜日「ぶぜん笑いの日」条例制定に関する請願は、不採択となりました

■趣旨

豊前市では、市民の寿命の延伸を目指し、生活習慣病の発症や重症化の予防、健康を支えるための社会環境の整備や生活習慣の改善を図っている。

市民が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていく為、健康寿命の延伸に向けた取り組みの一つとして、笑いが健康にもたらす効果が大きいことに着目し、笑いによる健康づくりについて、市民へ普及することを目的に、「ぶぜん笑いの日」を制定し、健康長寿を促す機運の醸成を図る事とする。

■設定日

◎毎月第3日曜日を「ぶぜん笑いの日」とする ◎8月を強化月間とする

【賛成討論】

○豊前市の明るい話題づくりときっかけづくりとして、市民に促すためにも条例制定は賛成である。

【反対討論】

○喜怒哀楽は自発的な感情であって、他人に強制されるべきものではない。笑うことを推進するのは良いが、条例で笑うことを努力義務とすることについて議論が尽くされていない現状、条例を制定するのは時期尚早だと思う。

○笑いだけに特化して条例を制定することは、様々な分野で健康づくりに取り組んでいる方々への思慮に欠けるものとする。条例を制定しなくても、講演会や普及啓発はできると思う。

採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

住民の納得できる予算執行が
なされたか？

令和5年度の 一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、決算特別委員会が設置され、一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月12日～13日の2日間にわたり開催し、令和5年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされましたが、申し入れ事項は次のとおりです。

決算審査に関わる決算特別委員会が設置されました。

メンバーは以下のとおりです

委員長	平田 精一
副委員長	秋成 英人
委員	爪丸 雄太
委員	渡辺 美智子
委員	増田 泰造
委員	梅丸 晃
委員	村上 勝二
委員	為藤 直美
委員	内丸 伸一
委員	福井 昌文
委員	尾澤 満治

決算審査における 申し入れ事項

令和5年度 豊前市一般会計歳入歳出決算について

- ◎市税の収入未済額については、なお一層の徴収努力により、減額に努めること。
- ◎指定管理者については、法令・契約等に基づき、適正に業務の遂行がされているか、チェックすること。

以上、申し入れました。

令和6年9月定例会 議案審議結果

「○」… 賛成 「●」… 反対 「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	爪丸雄太	渡辺美智子	増田泰造	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	平田精一	福井昌文	岡本清靖	尾澤満治	賛成	反対
議案第35号	豊前市いじめ問題調査委員会条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第36号	豊前市いじめ問題再調査委員会条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第37号	損害賠償額の決定及び和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第38号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第39号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第40号	令和6年度豊前市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第41号	令和6年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第42号	令和5年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	議長	●	9	3
議案第43号	令和5年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第44号	令和5年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第45号	令和5年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第46号	令和5年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第47号	令和5年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第48号	令和5年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第49号	令和5年度豊前市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第50号	令和5年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第51号	豊前市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第52号	豊前市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
請願第1号	【6月議会からの継続審査分】 鍼灸マッサージ施術助成金増額に関する請願	採択	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長	●	9	3
請願第2号	第三日曜日「ぶぜん笑いの日」条例制定に関する請願	不採択	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	議長	○	5	7
同意案第6号	豊前市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
同意案第7号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0



議長
岡本 清靖



副議長
福井 昌文

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派』の一般質問

(増田泰造議員)

- ① 子宮頸がんワクチンの「キャッチアップ接種」
- ② 带状疱疹ワクチンの定期接種
- ③ 産後ドウラ



(渡辺美智子議員)

- ① ハラスメント
- ② 学校再編
- ③ 豊前市の諸問題



(郡司掛八千代議員)

- ① 財政問題とこれからの取り組み
- ② ふるさと納税寄附状況
- ③ 特産品開発



(爪丸雄太議員)

- ① スポーツ振興
- ② ホームページとSNS



(村上勝二議員)

- ① 記録的猛暑と災害から市民の命を守るために
- ② 会計年度任用職員の処遇と改善
- ③ 介護保険料
- ④ 豊前市の空き家対策



(梅丸晃議員)

- ① ユマニチュードの普及
- ② Zig Zagの起業・創業支援



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

带状疱疹ワクチンの定期接種について



増田 泰造

そこで、豊前市の50歳以上の带状疱疹の患者数をお聞きする。

健康長寿推進課長 市では国民健康保険の情報しから分らないが、令和5年度は、50才以上3357名のうち64名だった。

増田議員 带状疱疹は50歳を境に発症し、80歳までに3人に1人がかかると言われ、中高年が気を付けたい病気の一つである。発症した方の20%に带状疱疹後神経痛が後遺症として残り、予防にはワクチン接種が有効である。現在、ワクチンは全額自己負担の任意接種で、不活化ワクチンは2回接種で4万円前後、生ワクチンは1回接種で8000円程度だが、医療機関によつてばらつきがある。公明党は国へ接種費用を公費で助成する定期接種化を主張、地方議員の推進により全国で独自に助成する自治体も増えた。本年6月には厚労省の専門委員会での議論が進展し、ワクチンの安全性と有効性を確認、費用対効果が期待できるとして、定期接種となる見通しである。

である。金額が決まっているので、市の助成、個人負担なども含めて、今後検討していきたい。

市長 带状疱疹ワクチンは、体力や免疫力が落ちていく時に打つと副反応が出やすい。体力が落ちていく時の副反応は、ダメージが大きいと聞いた。そのため、体力がない方の体力を回復させることがやはり大事なことである。運動など市民に理解して頂き参加してもらい、体力を向上させることで予防する力、受け止める力も強くなると思う。ワクチン接種を希望する方への支援については、いま国も動いているので注視しながら対応を考えていきたい。



健康長寿推進課長 定期接種化の時期や対象年齢について現在、国が検討中

学校再編について



渡辺 美智子

渡辺議員 現在の小・中学校14校の存続が困難であることは、市民も理解していると思う。学校再編後、子どもたちが笑顔で過ごせる豊前市であることを願う、質問する。市報5月号には、学校再編に関する財政難や工事費増加等のため市長は、寄附金を呼びかけているが、市民の中には財源や具体的な費用について知らない人が多い。

財政難を克服するために、隠岐の海士町では町長が50%の給料カットを実施している。豊前市も持続可能な自治体経営のためにも慎重に臨むべきと考える。市長に財源確保についてお伺いする。

市長 再編をしなくても、維持するだけでも再編以上の費用が見込まれる。そのような中、一番必要なのは、新しい最善の教育環境

を子どもたちに提供することだと考える。しかし、最近の経済情勢や国際情勢により予期せぬ費用がかかる状況になった。学校再編は、行政がやるだけでなく、寄附金という形で市民も参加できればいいの思っている。

渡辺議員 豊前市における出生率・人口の減少や、今後の借金返済を考えると、小学校を2校つくるのではなく1校に集約してはという声が市民から出ているが、いかがか。

教育長 生まれた子どもの数だけ考えるのではなく、学校の教育や子育ての施策が総合的にどうあるかで、選ばれる学校になるのではないかと思う。現在の再編プランは、教育内容の充実により豊築の中で選んでもらえる学校ということで、最善であり、一番コンパクトな案である。負担が大きいの指摘だと思うが、これ以上のコンパクト化は難しい。最終的な再編プランで、小学校を2つにまとめるために千束中と八

屋中を使うのは、教室数が確保でき、工事費が少なく済む。ただし、学校が大きくなるため職員室等の増築が必要となるが、費用が少なくて済む案になっている。他の案に変えるのであれば、以上の工事が必要になる。

渡辺議員 建設費用に関する金額を知らない市民が多い。金額の裏付けを、しっかりと伝えていったほうがいいと思う。再編計画によると、工事費は当初予定額66億円を上回り95億円となり、豊前市負担が概算で75億円である。これに設計費及び諸経費がかかる。今後、借金を背負っていく我々市民も知る努力が必要であると思う。



ふるさと納税寄附状況について



郡司掛 八千代

郡司掛議員 豊前市のふるさと納税の使途について

を進めている。親台湾の日本人に窓口を示し、単なる交流ではなく国際共生を目指している。ふるさと納税や企業版ふるさと納税でも、台湾を応援する企業が多く、その受け皿として窓口を設けた。

郡司掛議員 ⑤教育又は、文化振興に関する事業⑧その他市長が特に必要と認める事業について、内容をお尋ねする。

財務課長 教育又は、文化振興に関する事業では、ハワイへのホームステイ事業、小学校への英語教師派遣事業、小・中学校のICT教育推進事業など、その他市長が特に必要と認める事業では、保育所の副食費助成事業、こども医療費などに充当しており、令和5年度は新設中学校整備事業及び義務教育学校整備事業へ充当している。

郡司掛議員 ふるさと納税の使途の中に、子育てに関する文言が明記されていない理由をお尋ねする。

市長 子育て支援の大きな柱の一つが学校再編だと

思っている。他にはない教育環境を作るためにお金を集めてきたというのが現状である。

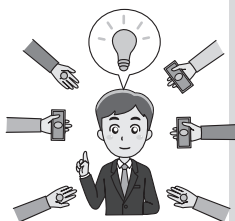
郡司掛議員 豊前市において少子化対策は重要課題である。寄附先の見える化は大事なので、子育てに関する項目の新設について検討をお願いする。また、豊前市の学校再編に向けた財源確保の取組として、ガバメントクラウドファンディングを実施する理由についてお尋ねする。

学校教育課長 一般的なかクラウドファンディングと違い、目標金額の達成状況にかかわらず、集まった金額が届く。また、返礼品なしとするため、9割の額がプロジェクトに使え、寄附金控除の対象となりメリットは大きい。

郡司掛議員 大変いい方法だと思うので、よろしくお願ひする。

市長 子育て支援の大きな柱の一つが学校再編だと

思っている。他にはない教育環境を作るためにお金を集めてきたというのが現状である。



スポーツ振興について



爪丸 雄太

爪丸議員 スポーツは、競技の面だけでなく、コミュニケーション能力の育成や、精神的ストレスの解消になるなど、子どもたちの健全育成につながる。また、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸に寄与し、健康で活力ある長寿社会の実現に不可欠である。様々な自治体が地域活性化や交流人口を増やすため、スポーツイベントに力を入れているが、豊前市内で行われているスポーツイベントをお答えいただきたい。

生涯学習課長 市民ニューススポーツ祭や豊前てんぐウォークがある。

爪丸議員 市民ニューススポーツ祭についてお尋ねする。ニューススポーツは、誰もがいつでも気軽に楽しめるスポーツとして普及しているが、子どもたちが好きそうなスポーツが少ないとの意見がある。ドッジビーやモルックなどの種目拡大は検討されているか。

生涯学習課長 昨年度、モルックの購入もしており、体験交流会を開き、大会に参加するチームを多く作れたらいいと考えている。

爪丸議員 一つの案であるが、当日受付ではなく前日受付にすることで、遠方からの参加者が宿泊や食事

をしたり、期限を設けた商品券を配布し、市内で買い物してもらうことで新たな経済効果が生まれると思うが、いかがか。

教育部長 実行委員会に提案し、検討したい。

爪丸議員 今後、豊前てんぐウォークの参加者が増え発展すれば、ゲストウォーカーなどを招いてさらに盛り上がることも可能である。豊前市内のスポーツイベントが市内外の方々に愛されることを期待する。豊前市のスポーツ振興について教育長にお尋ねする。

教育長 改めてスポーツの持つ力を考えさせられた。まず、部活動を充実させる環境を作らなければと考えている。また、スポーツを通して、人と人、人と地域のつながりを築くための工夫が必要だと思う。てんぐウォーク等の充実のためのアイデアを実行委員会に提案したい。

爪丸議員 スポーツ振興を通して豊前市の地域活性化、交流人口が増加することを期待している。

爪丸議員 スポーツ祭についてお尋ねする。ニューススポーツは、誰もがいつでも気軽に楽しめるスポーツとして普及しているが、子どもたちが好きそうなスポーツが少ないとの意見がある。ドッジビーやモルックなどの種目拡大は検討されているか。

生涯学習課長 昨年度、モルックの購入もしており、体験交流会を開き、大会に参加するチームを多く作れたらいいと考えている。

豊前市の空き家対策について



村上 勝二

村上議員 空き家は人口減少の象徴のように増え続けている。市街地のど真ん中で朽ち果てようとしている危険な空き家がある。市も対応しているが持ち主との関係が難しいようである。どう対応するのか周辺住民に十分な説明をしていないのではないかと。壊れかけている空き家への指導を行政としてどう行っているのか、お聞きする。

生活環境課長 所有者へ指導を行ったが解決には至っていない。建築物の所有者が複数名いることや柱や梁などが共有しており部分的な解体が技術的、費用面でも容易ではないことが原因だと思う。庁内で対策方法がないのか、協議しているところである。

村上議員 特定空家というのは、倒壊の恐れや危険

な状態、衛生環境が悪く管理が不適切といった調査基準を満たした建物で、認定されると固定資産税が6倍になることもある。自治体は、所有者に改善命令を出し従わないと過料や解体費用を請求することが出来る。アメとムチの政策というか、所有者への負担増で圧力をかけることにより、かえって問題がこじれることがあるのではないかと。市で特定空家と認定された戸数をお聞きする。

生活環境課長 まず特定空家の前に管理不全空家を指定し、その後改善がされない場合に、特定空家となる。市では法改正に伴い、管理不全空家の基準を福岡県空家対策協議会で作っている状況である。現在、特定空家はない。

村上議員 空き家対策は防災の互助と同じように、地域の問題として捉えている。隣人を支え合い、地域で空き家チームを作ってまちづくりを行い、移住や農業、産業への活用

ができると思われる。まさに全課を挙げての連携、取組だと思いが、いかがか。

総務部長 人口減少が進み地域内での共助は重要となってくる。他の地域の取組を参考にし、今後、地域づくり協議会等の活動を支援していきたい。

市長 空き家問題は個人の所有物がほとんどであるが、地域の問題として捉え、地域全体で解決していく姿勢が大事である。いい環境という景観をつくるという共通の目標を持つて取り組むのが望ましい姿である。

村上議員 もう現実に直面している場所もあり安全上、環境上の対策をしていかなければならない。全課を挙げての連携を行い、豊前市が先進的な取組ができるように願う。



ユマニチュードの普及について



梅丸 晃

梅丸議員 ユマニチュードは、人間らしくあるという意味のフランス語で、知覚・感情・言語を基にした包括的なケア技法である。4つの柱見る・話す・触れる・立つから構成され、誰でも学べば身につく。認知症のある人に優しさを伝えるこの技法を市内に普及させ、ケアする人もされる人も笑顔で安心して暮らせる豊前市になればと思う。ユマニチュードの取組や認証制度の活用はされているのか。

健康長寿推進課長 現在、認知症サポーター養成講座やもの忘れ相談は包括支援センターで実施されている。コミュニケーションやケア技法については、勉強会や医療介護連携会議でスキルアップを図っている。ユマニチュードについては、最近研修会で話を聞く機

会があったが、まだ活用には至っていない。今後、より良いケア技法として学び、身に付けていければと思う。

梅丸議員 病院や介護施設にも認証制度を告知し多くの職員さんへ認証取得を目指す取組をお願いする。また、出前講座では認知症に対する理解とユマニチュードの技法を学べるものがあればと考える。認証取得した職員が技法を伝える環境があっても良いと考えるが、執行部の考えを伺う。

健康長寿推進課長 昨年度、包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座を22回実施し、472名が参加した。併せて、出前講座も行っている。今後認知症対策関連の講座において、ユマニチュードのようなより良い技法を伝えることは有益であると考えている。

梅丸議員 ユマニチュードの普及について、市長の考えを伺う。

市長 ユマニチュードは、認知症の方に穏やかに接する

ことで、人間らしさを取り戻す有効な技法である。特に過激な行動による2次被害を防ぐ点で非常に良い技法だと思ふ。市長会の勉強会で「立つこと」によって人間らしさを取り戻すスビードが非常に早くなることを学び、私も強い関心を持った。新しいケア技法によつて、地域全体で支え合う環境を作ることが大事である。市役所や社会福祉協議会も関心を持ち、積極的に取り組むべきだと考える。

梅丸議員 認知症は誰にでも起こり得る脳の病気である。現時点では治すことはできないが、早期に治療を開始すれば進行を遅らせたり、症状を軽減することができるとされている。生活習慣病の予防や改善と同様に、ユマニチュードの技法を学んだサポーターが増え、普及活動を通じて、豊前市が認知症や高齢者に優しいまちになることを期待する。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



福井 昌文



内丸 伸一



秋成 英人

- (内丸伸一議員)
- ① 市民の安全・安心
- (平田精一議員)
- ② 環境問題
- ③ 農業(一次産業)
- ④ 財政問題



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だである調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

市民の安全・安心について

内丸議員 1市4町で運営する京築広域圏消防本部について、全体の定員及び職員数、並びに豊前消防署の定員及び職員数を教えていただきたい。

総務課長 京築広域圏消防本部全体の職員定数は、131名である。令和6年4月1日現在の職員数は、127名である。豊前消防署については、特に定数を定めていない。豊前消防署の職員は、102名である。

内丸議員 京築広域圏消防本部では、以前、重大な案件が発生し、その部署に人数を増やしたことで、現場の人数が不足し、出勤に必要な人数確保のため、休みの調整に苦慮しているようである。また、火災や救急搬送が重なると、休暇中の職員を招集することになり、救援活動に遅れが生じるなどの不具合が発生している。構成団体であり、組合長も務める豊前市がリーダーシップを取り、署員の労働環境の改善を進めてほしいが、いかがか。

市長 豊前消防署の現状については、おっしゃるとおり大変厳しい状況にある。働き方改革の中、働いている人たちが、力を尽くせる環境づくりに努めたい。

内丸議員 以前も質問したが、消防署の機械設備や車両が古く、故障したままのもの、出勤中にいつ止まってもおかしくないものがあり、修理しながら使っているようである。先日、2名が亡くなった四郎丸の火災現場の道は細かったが、車幅の狭い消防車両が故障のため、大型車両しかなかった。車幅の狭い車両があれば、状況は変わったかもしれない。消防車や救急車の故障は、市民の命に関わることであり、車両の状況を加味し、更新の優先順位を検討するなど、組合議会に提言していただきたいが、いかがか。

市長 四郎丸の火災で2人の尊い命が奪われ、本当に申し訳なく、哀悼の意を表したいと思う。我々もおっしゃるとおりやっているつもりだが、財政面もあり、思うようにいかないのが現状である。命に関わる問題だから最優先という気持ちとは同じであるが、現実となると、なかなかスムーズに更新ができていないのが今の姿である。現場も精一杯努力している中で、市民の命を守るため、できる限り良い環境をつくっていききたいと思っている。

内丸議員 組合長である市長をはじめ、組合議会議員も、消防署の現状をしっかり把握し、豊前市民の生命・財産を守る態勢を確保できるよう、組合議会での提言等をお願いする。



環境問題について

平田議員 ごみ削減について伺う。市民の声として、剪定した草や木を1件あたり5袋までとガイドブックに記載しているが、その日のうちに回収されない場合があると聞いた。どのように判断しているのか。

生活環境課長 臭いが発生しやすい生ごみを含む可燃ごみの収集を優先することを目的として、市民の方々へ5袋までをお願いしている。また、その5袋の判断は、収集業者が草の状態、結び方等で総合的に行っている。

平田議員 清掃施設組合は、豊前市、上毛町、吉富町と共同運営であるが、現在、剪定ごみの5袋制限を含めて、ごみの分別収集を統一化しているのか。

生活環境課長 細かなところで、それぞれ設定しているところはあるが、大きなルールとしては、統一されたもので運用している。

平田議員 各市町で回収業者が違うが、燃やす場所は一緒なので、ぜひ統一性

を持たせ、しっかりとやっていただきたい。剪定ごみの量について、市民だけでなく、剪定業者等が持つてくる量が相当あり、一時的に他市町村から持つて来られないよう少し値上げしたが、現在、どれくらいの量が入ってきているのか。

市長 具体的な量をお答えする材料をもっていないが、現場では、人件費、エネルギー、油、電気代も使っている。剪定枝、草などを土に戻すような施策をしないと、絶対量が減らない。畑や田んぼ、山が近くにある方々に、緑肥として土に埋め込むなどの処理方法を情報提供し、現場の状況を調べながら対応の仕方を考えていかなければならない。

平田議員 現場では、木材をチップ化しており、欲しい人は持ち帰っていると聞いた。チップは、家畜の下に敷く物として、糞と一緒に発酵させれば肥料として利用できるのではないか。化学肥料の値上げもあり、農業のためにもいいと思

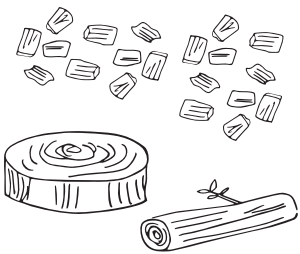
うが、いかがか。

生活環境課長 能徳にある清掃施設組合では、枝や木材等をチップ化している。これらのチップの利用について、畜産業者にアナウンスし、可能であれば、利用していただけるよう伝えたい。

平田議員 市民はチップ化についてほとんど知らない。広報をして、有効利用していただきたいと思うが、市長いかがか。

市長 清掃施設組合のみで行われているチップ化を、他の場所にも置き、子どもたちの環境教育につなげ、いろんな人が循環型の環境対策に関わっていく流れができればいいと思っている。

平田議員 近年、地球温暖化の傾向が加速しており、なお一層、ごみの削減、再利用に力を入れていただきたい。



JR日豊本線「小倉駅～中津駅間」とJR鹿児島本線「博多駅～小倉駅間」の運行列車の連絡改善及び輸送力強化を求める意見書を提出しました

岡本議長は、6月21日に全会一致で可決されたJR線に関する意見書を、築上郡3町の各議会議長と共に、7月22日に九州運輸局（表紙）、8月5日に福岡県庁・県議会を訪問し提出しました。

なお、県庁では地元選出の西元県議会議員同席のもと、担当部長と意見書の内容について意見交換を行いました。



福岡県庁にて

議会関係ハラスメント根絶のための議員研修



議員研修の様子

令和6年7月11日に、福岡県議会主催の議会関係ハラスメント根絶のための議員研修に参加しました。講師は上智大学法学部教授 三浦まり氏で、「議会ハラスメントの防止に向けて」と題し、政治分野におけるハラスメントの防止について事例も交え、ご講演いただきました。

研修内容を踏まえ、今後も各議員がハラスメントに対する理解をより一層深め、議員活動に努めてまいります。

第10回 議会報告会を開催します!!

本会議や委員会での審議報告に加えて、身近な地域の課題などについて意見交換をします。皆様のご参加をお待ちしております。

日 程	時 間	地 区	会 場
11月13日(水)	午後7時～	横武・合河・岩屋	横武公民館
11月14日(木)	午後7時～	八屋・大村・宇島	総合福祉センター
11月15日(金)	午後7時～	角田・山田	角田公民館
11月16日(土)	午前10時～	三毛門・黒土・千束	総合福祉センター

※地区毎に分けておりますが、どの会場にもご参加できます。

(議会報告会の時間は1時間30分程度です。)

※各地区、地元議員を中心に班編成して参加します。

編集後記

皆さん、はじめまして。この度、議会だよりの副委員長を拝命することとなりました。どうぞ宜しくお願い致します。

「地球沸騰化」といわれた長い夏が終わり、実りの秋を迎えました。

どこからともなく神楽の囃子の音が…。祭り好きの私にはたまらない季節となりました。小屋入りに始まり、こどもたちを交えてのお餅つき、一年間の無事と収穫への感謝を込めた神楽奉納。

秋の夜長、読書も良いですが、神楽見物にお出かけになってはいかがでしょうか。

渡辺 美智子

次回の定例会市議会は
12月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。

みなさんの傍聴をお待ちしています。

また、本会議については、インターネット中継をしております。

[豊前市議会](#)

[検索](#)

●編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：渡辺美智子
委員：爪丸雄太 増田泰造
村上勝二

●印刷 築上印刷有限会社